

消費者市民になろう！α  
指 導 ガ イ ド

浜松市消費者教育推進計画では、「消費者教育の推進による安全・安心で豊かな消費者市民社会の実現」を理念として、「消費者市民社会の一員となる自立した消費者の育成」を目標としています。

そこで浜松市は、自らの消費行動が社会経済情勢や地球環境に影響を及ぼすことを自覚して行動する消費者の育成を目指し、平成28年に小学校用教材「消費者市民になろう！第5学年『筆箱を選ぼう』」を作成しました。今年度は、この教材に環境を考えた「エシカル」の視点をプラスした新規教材を加えました。本指導ガイドは、新規教材の活用に加え、これまでに作成した教材を活用した授業も紹介しています。

小学校では、「売買契約の基礎」・「消費者の役割」・「エシカル消費」を学びますが、これは、中学校や高等学校の「消費生活・環境」の学びの基礎となります。

活用する教材

■「消費者市民になろう！」(H28) ■買う前に考えよう！NEEDSとWANTS(R3) ■環境を考えた筆箱選び(R3)



小学校用消費者教育教材  
「消費者市民になろう！」  
第5学年「筆箱を選ぼう」  
第6学年「じゃがいもを選ぼう」

どれをよかよく考えるのじゃ！

浜松市

**新**

← NEEDS → WANTS →



**新**

D



D  
価格  
サイズ  
容量  
主な素材：PETボトルリサイクル  
ポリエステル  
重さ : 50g  
色の種類：

■「人・地球にやさしい消費者になろう！」(R2)



小学校・中学校発達支援学級  
消費者教育教材  
「人・地球にやさしい消費者になろう！」  
～契約って何？～

浜松市

IC CARD

返品できる？

- 教材 1 買い物の順番は？
- 教材 2 契約とは？
- 教材 3 支払方法は？
- 教材 4 どれを選ぶ？
- 教材 5 マークをさがせ！

これください！  
もうで  
申し出

はい！  
わかりました  
しよたく  
承諾 OK！

■揭示教材

「写真を見て考えよう」(H31)



写真を見て考えよう

これでおなじみ？  
なぜこんな形で売られているの？  
なぜ素材が選ばれるの？  
なぜ子供が困っているの？  
なぜゴミの中を選んでいるの？

SUSTAINABLE GOALS

いってびり エシカル消費

持続可能な社会の構築に向けて、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する児童の姿が望まれます。本教材を活用した学習が自立した消費者育成の基盤となり、小・中・高と系統的につながっていくことを願っています。



指導主事  
前田浩平先生

## 実践例 1 買う前に考えよう！

対象：5年生  
教科：家庭科

題材名：生活を支えるお金と物(全6時間扱いの2時間目)  
ねらい：「NEEDS(必要)」と「WANTS(ほしい)」の違いに気づきよりよい買い物のためには、「NEEDS」と「WANTS」を考えて購入を判断する必要があることに気づく。

### ■活用教材

「NEEDS」・「WANTS」カード(R3)

NEEDS カード  
WANTS カード  
10枚

新



### ■授業構想

1時間目には、スーパーマーケットでの買い物風景や児童の生活経験を話し合う中から、「消費」や「消費者」、「消費者が物やサービスを購入していること」に気づかせます。2時間目の本時では、よりよい買い物について考えさせるために、教科書 P60「買う前に考えよう」を確認し、実際の生活に結び付けながらカードを「NEEDS」と「WANTS」に分けます。次時には、買い物の仕組みや契約の成立はいつかなどの契約の基礎を学びます。



引佐北部小中学校  
小田真弓先生

消費者の一員として学びたいことは？

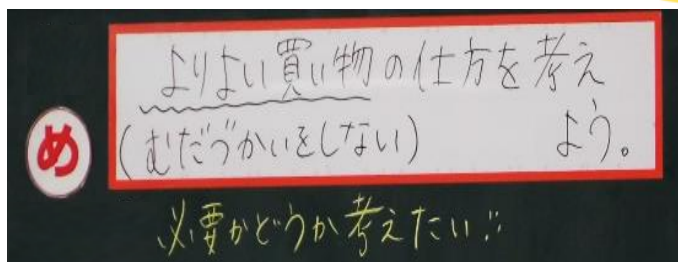
無駄遣いしない方法を知りたい！



よりよい買い物とは、どんな買い物のこと？

無駄遣いしないことだね。

10枚のカードを分けてみてどうでしたか？



どれもみんな  
NEEDS!  
必要なものばかりだと思  
うけど・・・



次に、「NEEDS」と「WANTS」を生活の中からさがして、分けてみましょう。

スマホってどっちだろう？



個々の考えで分ける



考えを共有する

自分は、スマホが  
WANTS だった。  
NEEDS の人から毎日  
家族との連絡で必要だ  
という理由を聞いて納  
得した。  
人によって分け方が違  
ってもいい。



個人の考えを明らかにしてから、みんなで考えを共有することで、児童は自分と違う考えがあることや生活の仕方や時代の流れによって分け方がいろいろあることに気づきました。消費者は、何を購入するか責任をもって判断しなければならないという最後のまとめの言葉に児童は、納得していました。

私たちは、多くのものが溢れた消費社会の中で暮らしています。本当に必要なものを的確に選択したり判断したりする力を育み、自立した消費者の育成につなげていきましょう。



城北小学校  
山田真代子校長先生

## 実践例2 どの筆箱を選びますか？

対象: 5年生  
 教科: 家庭科  
 題材名: 生活を支えるお金と物  
 (全6時間扱いの4時間目)

ねらい: 4種類(A~D)の筆箱を選ぶ際の観点や情報収集と整理の仕方が分かり、根拠をもって筆箱を選択する。

### ■授業構想

前時(3時間目)は、買い物の仕組みや、買い物の契約の成立はいつかなど契約の基礎を学びました。本時は、H28年に作成した5年生「筆箱を選ぶ」の3種類(A~C)の筆箱に「D 環境を考えた筆箱」を加え、4種類の筆箱の情報を集め、表(マトリクス)に整理させて、自分だったらどれを選ぶか選択させます。家庭科の学びを通して確実に身につけさせたい批判的思考力(考える力)を身につけさせます。

### ■活用教材

「筆箱を選ぶ」A~Cの筆箱とDの筆箱

「写真を見て考えよう」



和地小学校  
 増井葉子先生

どんなポイントを大事にして筆箱を選びますか？

「ねだん」を気にする！



4種類の筆箱があります。どの筆箱を選びますか？その理由は何ですか？

サイズを気にする。大きすぎても小さすぎても困る。

め どのようなポイントで筆箱を選んだらよいか

1. どの筆箱がいいかな。下の4つの中から選んでみよう。(A・B・C・D) 考えよう

2. チェック表を使って考えてみよう。(○、△、×)

筆箱	A	B	C	D
選ぶポイント				
ねだん	○	○	△	×
大きさ	○	○	○	○
デザイン	○	○	○	○
選んだ筆箱				○
選ぶ理由				からがほしい。
選ばない理由	日本で作られているけど、値段が安いから。	海外で作られているから、大きい。	ソフトは、にでいいから。	リサイクル品を使っている。



それぞれの筆箱を選んだ理由を発表しましょう？

A	大事にしたポイント リサイクル品を使っていて環境にやさしい。
B	理由 最初は、見た目と判断していたけど、ペットボトルをリサイクルして使用しているから環境にやさしいから。
C	
D	

4. 今日の学習を振り返って(大事だと思ったことやこれからの買い物にいかしたいこと)

これから物を買う時は、見た目と判断せず、たくさんの特徴、うとつから買おうとする。



スライドに投影してエシカル消費を考える

Dの筆箱は、他に比べて値段が高く商品の色が限られることもあり、多くの児童が選択しませんでした。環境の視点から選択した児童もいました。この児童の考えを発表させ、SDGsのポスター「写真を見て考えよう」につなげて考えさせます。まとめでは、消費者にはどんな役割があるか話し合いました。

限りある資源を大切に「環境にやさしい消費行動」について考えさせることで、自分自身の行動が持続可能な社会の実現につながっていることに気づかせていきましょう。



城北小学校  
 山田真代子校長先生

# 実践例3 地球にやさしい商品は？

対象:5年生  
教科:家庭科

題材名:生活を支えるお金と物  
(全6時間扱いの5時間目)

ねらい:「安全」や「環境」の視点から商品を選ぶための品質表示や各種マーク、環境に配慮したエシカルな商品のマークなどを知り、どのような商品についているかを見つけることができる。

## ■活用教材

「人・地球にやさしい消費者になろう！」  
教材5マークをさがせ！

「写真を見て考えよう！」



どんな商品にマークが付いているでしょうか。

ティッシュペーパーの箱に付いていたかも？

教材5「BINGO ゲーム」でエシカルな商品のマークをさがす。買い物に行ったときに見つけよう！

## 持続可能な社会の構築に向けて



「人・地球にやさしい消費者になろう！」は、小中学校発達支援学級用の教材ですが、家庭科でも活用できます。

これから生きる子供は、国際連合が定めた持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)の持続可能な社会の構築や消費者教育の推進に関する法律(消費者教育推進法)の定義に基づく消費者市民社会の担い手として、責任ある行動ができる力をつけていく必要があります。

生活の仕方・考え方の4つの視点です。



家庭科は、自分の生活を「協力・助け合い」・「健康・快適・安全」・「生活文化」・「持続可能な社会」の4つの視点で見直します。



4つの視点で生活を見直して改善していくと、SDGs12の目標「つくる責任 つかう責任」を果たすことにつながります。



家庭科の学びの充実が持続可能な社会の構築につながります。

出所:わたしたちの家庭科 開隆堂出版

浜松市小中学校消費者教育教材作成プロジェクト委員(敬称略)

- 山田真代子(城北小校長) 平野敦子(舞阪中校長) 鈴木靖(光が丘中校長) 前田浩平(指導主事)
- 増井葉子(和地小) 小田真弓(引佐北部小中) 河合綾乃(東部中) 深田貴代(富塚中)
- 大村愛(富塚中) 芦田昌子(丸塚中)

発行 令和4年3月 浜松市市民生活課くらしのセンター  
所在地 〒432-8032 浜松市中区海老塚町51-1  
電話 053-457-2635 FAX 053-457-2814  
制作 公益財団法人消費者教育支援センター

お買い物は商品・企業への「投票」です!

省エネ商品やエコ商品、フェアトレード商品などを選ぶことで、地球環境や社会に配慮した商品・企業を応援することになるのじゃ!



浜松市くらしのセンター

